

【公共サービスとしての保育のあり方についての基本方針及び実施計画の策定】

○「平成27年度」の状況

《保育園のあり方検討委員会からの意見書》平成27年度 4回開催

- ・市全体の保育のレベル維持のための公立保育園の役割。
- ・民間移譲は選択肢の一つ。
すべての移譲は得策ではなく、必要数の見極め。
- ・さらなる協議の場の設定や関係者等との情報共有の必要性。 など

《公立保育園の利用者からの意見》平成27.12～平成28.1 5園5回開催

- ・公立保育園を選択肢として残してほしい。
- ・5園あるからバランスが取れている。
- ・民間移譲に反対する保護者の意見をすくい上げてほしい。 など

《多世代共働交流まちづくりの推進》

- ・保育園の位置づけ。
単に保育の提供施設ではない。
地域コミュニティの一翼を担う、多世代交流（高齢者と園児の交流）の場。
多極ネットワーク型社会の核施設。
「子育て世帯や高齢者が住みやすいまち」として、アピールポイントとなる施設。

新しい要素

↓

地域の保育力を高めていく上で、本市の公的保育のあり方を明確にしていく必要がある。

↓

公共サービスとしての保育のあり方についての基本方針と、地域毎に異なる子育て環境を考慮した実施計画を策定

○基本方針

- ・地域の子育て力を高めていくために、公共サービスとしての保育のあるべき姿を実現するための方向性をまとめたもの。
あるべき姿を踏まえて、公立保育園、私立保育園及び幼稚園の役割を記載する。
それを踏まえて、公立保育園の方向性についても検討を加える。

○実施計画

- ・基本方針を実現するための、具体的な取組みについての計画。
 - ・地域ごとに異なる子育て環境を考慮した計画。
- ※公立保育園を民間移譲するための計画ではない。

○策定プロセス

- ・子ども・子育て審議会において、市が策定する基本方針及び実施計画について意見を聞く。
主に、公的保育や地域の保育力を高めるための体制(あり方)について議論。
審議会の意見を受けて、市が方針及び計画を策定。

○スケジュール（予定）

時 期	項 目	内 容
28年 4～6月	5月 第1回審議会	現状と課題の整理 経過と今後の予定 など
7～9月	7月 第2回審議会 8月 基本方針策定 9月 講演会（予定）	基本方針(案)の提示 専門家を予定
10～12月	10月 第3回審議会 11月 第4回審議会 12月 パブリックコメント	意見聴取など 実施計画(案)の提示
29年 1月	1月 実施計画の策定	